

起業家が誕生

みんなが地域産業に活力を

大田市では、貴重な財産である「石見銀山」の平成19年の世界遺産登録を目指す中、「石見銀山」をキーワードに地域資源を活かした産業や観光の振興を図ることにしています。

取り組み

今年6月には、行政と経済団体等で大田地域雇用創出促進協議会を立ち上げ、まちづくりや産業振興を担う「ひとつづくり」と「雇用創出」に取り組んでいます。

ひとつは、石見銀山に来ていただくお客様を最高のおもてなしで迎えることができるよう、観光ガイドの養成や旅館などのサービス業に関する従業員の研修を行っています。また、良質の粘土と匠の技術で全国に誇れる石州瓦をはじめとする地域資源を活かした産業の振興のため、商品開発や市場開拓に向けた研修を進めています。

そして大田市には、景観にマッチし、風土に合った良質な建築物が多く残っています。職人の確かな知恵と卓越した伝統技術を傳承していくため、人材の育成や古民家の移築・再利用に取り組んでいます。

匠の技の承継と育成研修に参加した受講生は、「日本の風土に木造住宅が、いかに理にかなっているか改めて考えさせられた」と感想。

起業家1号誕生

また、この取り組みにより、第1号の起業家が誕生しました。仁摩町の大国地区の高齢者を中心にした「大国竹取物語」という組織です。この会社では地域資源である「竹」を利用した商品開発を行い、今後の活動が期待されます。

これらの取り組みについては、厚生労働省の委託を受けてパッケージ事業として実施しています。

推進イメージ

●第1の柱

石見銀山のホスピタリティを高め起業や商品開発を担う人材の育成

- 観光ガイドやトレッキングガイド等の養成
- 接遇・ホスピタリティの醸成と外国語の習得
- 起業や創業、商品開発を担う人材づくり
- 高齢者対応と高齢者を活かした事業展開など

●第2の柱

石州瓦等ものづくり産業の競争力の強化を担う人材の育成

- 営業戦略、広告戦略等ものづくり産業の競争力強化
- 新商品開発とブランド化
- 体験型観光など産業観光のあり方研究など

●第3の柱

建築大工・左官等の匠の技の継承と育成

- 建築（大工・左官）技術の基礎講習と実技演習
- 木造建築物の構造（耐震性や耐久性）にかかる研修と実技演習
- 古民家利活用ワークショップなど

地域経済の活性化と雇用創出に向けて様々な講座が開催されています。

●第4の取り組み

地域内企業や観光資源等の情報発信

人材育成と雇用創出